

授業コード / Code	科目名 / Course Title	担当者 / Instructor	履修年次 / Semester	授業形態・単位数 / Style・Credits	必修選択の別 / compulsory subjects or optional subjects
j29211	環境指導法	本庄 眞	2年次・前期	演習・1単位	幼免・保育士必修

授業の概要 / Course Outline
「保育指針」「教育要領」の領域「環境」に示された内容に加え、環境との豊かなかかわりを育むための環境設定(環境教育)について理解し、それを保育現場でどのように生かすかを考える。

到達目標 / Attainment Objectives	ディプロマポリシーとの対応関係 / Relationship with the diploma policy
1. 幼児の成長に環境が果たす役割が分かり、環境設定を工夫する。	A-① B-②
2. 幼児の数量・図形等に対する興味・関心を育てる指導法を理解する。	A-② B-②
3. 幼児期の標識・文字などを意識させる指導法を理解する。	A-① B-①
4. 幼児期における環境設定(環境教育)の重要性を理解し、自ら行動しようとする。	C-① D-①

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation		
種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記) End of Semester Examination (Written)	0%	
レポート試験 Report Examination	0%	
実技試験 Practical skill test	0%	
平常点評価 Continuous Assessment	100%	授業後のふりかえりの提出とその内容

教科書 / Textbooks
「むすんでみよう子どもと自然」 井上美智子・無藤隆・神田浩行 北大路書房(2010)

参考書 / Reference Books
・幼稚園教育要領解説、保育所保育指針解説書、「よく分かる環境教育」 ミネルヴァ書房(2013) ・その他、必要に応じて授業で資料を配布する。

予習・復習 / Preparation・Review
予習 次回授業の「むすんでみよう子どもと自然」「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」の範囲を読んでおく 復習 今回授業の「むすんでみよう子どもと自然」「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」の範囲を読みなおす

課題に対するフィードバック方法 / How to give feedback on tasks
授業で行った活動を自分の身近な地域で行い、発見や感想を記録・整理し、報告する。それに対し、コメントをする。

その他 / Others
天候やコロナ感染状況などによって授業スケジュールを変更することがある。毎回の授業後に、授業のふりかえりを提出する。体験活動のときは、それにふさわしい服装や準備をする。

授業スケジュール / Course Schedule

※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。

授業回数 Lecture	テーマ / Theme
	内容 / Contents
01	オリエンテーション・授業展開とその留意点・アンケート
	領域「環境」の位置づけやねらいを知り、授業の流れと留意点を理解する。
02	栽培計画案の作成
	「環境」とは何か、「環境教育」とは何かを確認しながら、栽培計画案をたてる。
03	自然体験ゲーム【体験活動】
	学内で自然体験ゲームをしながら、自然体験に必要な要件を考える。
04	幼児の自然遊び【課題レポート】
	「幼児の自然遊び」について調べ、レポートを書く。
05	公園の活用【体験活動】(雨天:室内ワークショップ)
	活動を通して、公園における環境設定の工夫を考える。
06	公園の活用を考えた指導計画案の作成【課題レポート】
	公園の活用を考えた指導計画案を作成する。
07	子どもの権利条約と子ども文化
	子どもの権利条約をもとに、子どもをとりまく生活環境と子ども文化について考える。
08	子どもの権利条約・子ども文化【課題レポート】
	「子どもの権利条約」「子どもをとりまく生活環境」「子ども文化」について「自分との関わり」でレポートに整理する。
09	学外フィールドワーク【体験活動】(雨天:室内ワークショップ)
	学外をフィールドワークしながら、散歩活動における安全確保を考える。
10	散歩マップの作成
	学外のフィールドワークを基に、自然・指導の留意事項を入れた「散歩マップ」を作成する。
11	室内ワークショップ①【体験活動】
	身近な物を使った工作(またはフェノロジートランプのワークショップ)を通した環境設定を考える
12	室内ワークショップ②【体験活動】
	竹の工作活動(または岩石や土を使った体験活動)を通した環境設定を考える。
13	室内活動の指導計画案作成【課題レポート】
	室内活動を基にした具体的な指導案を作成する。
14	栽培のレポート作成【課題レポート】
	育てた植物のレポートを作成し、それをどのように環境設定として活用するかを整理する。
15	「環境指導法」自己評価【課題レポート】
	環境指導法の学びを自己評価し、学びを「自分化した」学習内容をレポートとして整理する。